

旭川市報道依頼

各報道機関 様

KJ00242637

2024年3月22日

発信課	文化振興課
担当者	小川 大介
連絡先	電話 0166-25-7558
	FAX 0166-24-7011
	E-mail bunkashinko@city.asahikawa.lg.jp

分類	イベント・行事 [] 募集 [] 契約・入札 [] 会議・説明会 [] その他 [○]
日程	令和6年5月18日 16時00分 ~ 令和6年5月18日 18時00分
発表項目 (行事名)	第7回井上靖記念文化賞の受賞者について
概要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	<p>井上靖記念事業実行委員会（NPO法人旭川文学資料友の会・北海道新聞旭川支社・旭川市教育委員会）では、優れた文化活動を通じて継続的に地域や社会への貢献を行っている方を表彰するため、旭川ゆかりの作家・井上靖の業績と遺志を記念した井上靖記念文化賞を贈呈しています。</p> <p>第7回となります本年は、写真家の石内 都さんが井上靖記念文化賞を、漫画家の安彦 良和さんが井上靖記念文化賞特別賞を、それぞれ受賞されることが決定しました。</p> <p>つきましては、以下のとおり賞状の贈呈式及び受賞者による記念講演会を開催することを予定いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 日時：令和6年5月18日（土曜日）午後4時～午後6時 （開場：午後3時30分） 場所：アートホテル旭川（北海道旭川市7条通6丁目） 内容：受賞者（石内 都 氏、安彦 良和 氏）への賞状の贈呈と 両氏による受賞記念講演会の開催 入場料：無料 定員：100名 申込み：事前に担当（旭川市教育委員会文化振興課）までご連絡 ください。 担当：旭川市教育委員会文化振興課 （電話：0166-25-7558、FAX：0166-24-7011、 メール：bunkashinko@city.asahikawa.lg.jp）
添付資料	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
報道（取材）に 当たってのお願い	
備考	

第7回井上靖記念文化賞の受賞者について

第7回井上靖記念文化賞選考委員会を2月17日（土）に東京都内において開催し、次のとおり受賞者が決定しました。

1 井上靖記念文化賞について

文学、美術、音楽及び歴史等の文化活動において優れた作品や活動実績を有し、また、その活動を通じて継続的に地域や社会への貢献を行っていて、これからの更なる飛躍が期待される個人又は団体を対象としています。


2 主催

一般財団法人井上靖記念文化財団


井上靖記念事業実行委員会（旭川市教育委員会、北海道新聞旭川支社、NPO法人旭川文学資料友の会）

3 受賞者（※主な経歴は別紙）

(1) 井上靖記念文化賞（記念品及び賞金100万円）

(受賞者)	(職業)	(贈賞の理由)
 <p>いしうち みやこ 石内 都 ・昭和22年3月27日生（76歳） ・群馬県桐生市 在住</p>	写真家	石内都氏は1970年代末に、自らが育った横須賀の写真シリーズによって脚光を浴びて以来、記憶をテーマにした独自の表現の可能性を切り開いてきた。 母が身に着けていた衣装を撮った「Mother's」のシリーズや広島原爆記念館の遺品をモチーフにしたシリーズは、身体的、生理的な感覚と鋭敏な批評精神を一体化させた世界として高く評価されている。
【受賞者の言葉】 ・写真関係でない賞を頂くのはとても嬉しいです。写真は社会的な表現なので、これを機会に、幅広い広がりが期待できます。ありがとうございました。		

(2) 井上靖記念文化賞 特別賞（記念品及び賞金50万円）

(受賞者)	(職業)	(贈賞の理由)
 <p>やすひこ よしかず 安彦 良和 ・昭和22年12月9日生（76歳） ・埼玉県所沢市 在住</p>	漫画家	安彦良和氏は日本を代表する漫画家、アニメ製作者として知られている。 『機動戦士ガンダム』の名を聞いたことのない日本人は少ないだろう。 だが、氏の功績はそこに留まらない。『虹色のトロツキー』で近代日本の闇を、『ヤマトタケル』や『ナムジ』では古代、あるいは神代の日本を描き、マンガの世界に新しい領土を切り開いたパイオニアである。
【受賞者の言葉】 ・井上靖先生は児童文学から世界を視野に入れた歴史小説までを手がけられた巨人です。漫画、アニメというサブカルチャーに身を置く者がお名前を冠した賞をいただけるとは身に余る光栄です。これを励みにこれからも仕事をして参ります。		

4 選考委員（5名）

川村 湊（文芸評論家・法政大学名誉教授）

栗原 小巻（女優・日本中国文化交流協会副会長）

建畠 哲（美術評論家・詩人・埼玉県立近代美術館館長）

高橋 源一郎（作家）

伴野 昭人（北海道新聞社文化部長）

5 贈呈式（予定）

(1) 日 時 令和6年5月18日（土）午後4時から

(2) 会 場 アートホテル旭川

(3) 内 容 賞の贈呈, 受賞記念講演会等

(4) 入場料 無料

(5) 定 員 100名

6 （参考）これまでの受賞者

第1回（平成28年度）：菅野 昭正（世田谷文学館館長），小田 豊（六花亭製菓㈱元代表取締役社長） ※本賞2名

第2回（平成29年度）：芳賀 徹（国際日本文化研究センター名誉教授），特別賞：織田 憲嗣（東海大学名誉教授）

第3回（平成30年度）：大城 立裕（作家），特別賞：伊藤 一彦（歌人・若山牧水記念文学館館長）

第4回（令和元年度）：宮本 輝（作家），特別賞：岡野 弘彦（歌人・國學院大學名誉教授）

第5回（令和3年度）：熊川 哲也（バレエダンサー/Kバレエカンパニー芸術監督），特別賞：藤原 良雄（(株)藤原書店代表取締役社長）

第6回（令和4年度）：吉増 剛造（詩人），特別賞：山本 ひろ子（和光大学名誉教授・私塾「成城寺小屋講座」代表）

【受賞者の業績等】

井上靖記念文化賞 石内 都 氏

1, 活動の概要

写真家。1947年群馬県桐生市生まれ。横須賀で育つ。多摩美術大学デザイン科染織コース中退。

独学で写真始める。1977年「絶唱, 横須賀ストーリー」で初個展を開催。

現在も継続している代表的なシリーズ「ひろしま」では、被爆した方々の衣服や日用品を光や配置を熟考して写し取り、持ち主であった個々の人間をそこに反映させている。ほかにも、建物、体に残る傷跡、フリーダ・カーロや母の遺品などを撮ることで、目に見えない「時間」を写真に写し込む試みを行っている。

2, 主な出版・受賞歴

1978年 写真集「アパート」写真通信社（木村伊兵衛写真賞）

1993年 エッセイ集「モノクローム」筑摩書房

2005年 エッセイ集「キズアト」日本文教出版

ヴェネチア・ビエンナーレ写真集「mother's 2000-2005 未来の刻印」淡交社

2008年 写真集「ひろしま」集英社（毎日芸術賞）

2013年 紫綬褒章

2014年 ハッセルブラッド国際写真賞

2016年 写真集「フリーダ 愛と痛み」岩波書店

エッセイ集「写真関係」筑摩書房

2023年 朝日賞

【受賞者の業績等】

井上靖記念文化賞特別賞 安彦 良和 氏

1 活動の概要

漫画家, アニメーター, アニメ監督。1947年北海道紋別郡遠軽町生まれ。
弘前大学人文学部西洋史学科除籍（退学）。

1970年虫プロダクションに入社し, 1973年からはフリーのアニメ作家として活躍。『勇者ライディーン』『機動戦士ガンダム』などを手掛ける。

1979年, 『アリオン』で漫画家デビュー。古代日本に題材をとった『ナムジ』『神武』『ヤマトタケル』, 明治以降の近現代史の裏面を描いた『虹色のトロツキー』『王道の狗』, 西洋史が舞台の『ジャンヌ』『イエス』『我が名はネロ』など著書多数。代表作『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』は累計1000万部を超える大ヒットとなった。クオリティの高い作画で多様な登場人物をリアルに描き, 様々な分野のクリエイターに影響を与えている。

2006年から2015年, 神戸芸術工科大学メディア表現学科教授。

2 主な受賞歴

1981年 星雲賞（アート部門）

1990年 日本漫画家協会賞優秀賞 『ナムジ』

2000年 文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞 『王道の狗』

2012年 星雲賞（コミック部門） 『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』

2015年 アニメーション神戸賞特別賞

2021年 日本アカデミー賞協会特別賞

2022年 文化庁映画賞（映画功労部門）